

仲間と一緒に受講しましょう

今年も全労連「わくわく講座」を開催します。

労働組合の基礎理論を体系的に学び、

学習を通じて全労連運動への理解を深めましょう。

そして労働組合の役割を学びましょう。

今までに5000人以上の仲間が受講しています。

一人でも多くの方の受講をお待ちしています。

2021年 わくわく 講座の ご案内

(全労連初級教育制度)



仲間と一緒に、ほぼ毎回参加できた。ビデオを交えた学習で大変おもしろかった。

受講して、自分の置かれている状況があたりまえでないことを、改めて実感。まわりの人に伝えていこうと思った。



3つの
キャンペーンで
学習促進

① 役員 100%受講キャンペーン

地方組織役員、単産役員・職場役員など役員100%の受講をめざしましょう。

② 3年目キャンペーン

組合歴3年目の人の受講を推進します。

③ 1地方「1わくわく」の実施

各地方(地域労連含む)で開校式・閉校式・スクーリングなどの集団学習や「お花見」「暑気払い」「クリスマス会」など楽しい企画(「1わくわく」)を学習と組み合わせて実施しましょう。

●2021年3月から
10月末まで募集

●テキストを用いて学習、
サポーターの
援助が受けられます

2021年										2022年		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
募集期間は3月から10月までです												
			6月から3月までの期間内の10か月間で学習します									

ZENROREN 全労連 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL(03)5842-5611 FAX(03)5842-5620
http://www.zenroren.gr.jp

2021.1



集まれ! 学べ! わくわく講座ラパス講開講決定

東京「わくわく講座ラパス講」第1回実行委員会を5月13日、地評会議室で7人が参加して行った。議題名は「わくわく講座ラパス講」に、目的は学習・教育を労働組合の日常活動に位置づけ次の学習成果をめざす。
講座内容は、わくわく講座テキストによるもので6月12日の開講日から毎月（第1会報日曜）1講座ずつ6講座までおこなわれ、修了式を11月に行う。
毎回の講座は、東京区労連の協賛の下で進められ、修了式は11月に行う。
ラパス講の特長は、講座は8時までとし、その後、大人の給食として、東京区労連スタッフによる手作り昼と大塚商店街の地の物・コロッケなど、飲み物付きでふるまわれる。給食代は義務教育のために無料。



実行委員会後に、区商校舎と（右から3人目）ソーシャルディスタンスにもあてないお弁当を準備。修了時に各自で撮影する

第一回は、6月12日(金)18:30～!

参加費：講座参加費は無料と給食代は無料。
教材費別：三千元（受講者が10人を超えると二千元に。仲間を誘おう!）
修了特典：千円のクオカード

東京地評青年協のわくわくニュース



愛労連の閉講式

受講者はみんな元気な



道労連の閉講式

ビデオ講座でわかりやすく各章を解説



第四節

賃金上げたい、健康で働き続けたい

—労働者・労働組合の基本的要求と重点課題

テキストの内容

- 第1章 人間らしく生き働くことと労働組合
- 第2章 労働者・労働組合の権利
- 第3章 労働組合の組織と運営
- 第4章 労働者・労働組合の基本的要求と重点課題
- 第5章 未来をひらくナショナルセンター・全労連

実施要項

- (1) 受講対象：役員になって日が浅い人、役員になってほしい人など
- (2) 学習期間：2021年6月～2022年3月までの期間(10カ月間)
- (3) 学習方法：テキストを使い、1カ月で1章の読了をめどに、10カ月で全5章を学習します。職場・地域を単位に「学習サークル」を作りましょう。
- (4) 援助体制：学習サポーターを配置し修了を援助します。
※毎月1回、パソコンやスマホを使って、web上で簡単なチェックテストができます。質問・疑問・意見・感想などを出すこともできます。
- (5) 労働学校（スクーリング）が開催されます
地方組織（あるいは地域組織）単位で行われます
開講時：開講式と記念講演
終了時：労働学校、閉講式
- (6) 修了基準：テキストを読了し、修了時の労働学校に参加してください。参加できないときは送られてきた修了テストを提出。修了者には議長名の修了証を交付し、記念品を贈呈します。
- (7) 応募期間：2021年3月から10月末まで
- (8) 受講負担金：3千円(2020年末修了者の再受講者は負担なし)

申込用紙

申し込みは所属組合へ

組織名		役職			
氏名		年齢	歳	性別	男・女
住所	〒				どちらかに○ 新規・再受講
電話番号					